

	横浜市音楽研究会 研究部 器楽 部会記録				
日 時	平成31年3月6日(水)				
部会名	研究部 器楽部会			主任	吉田 百合子
参加数	5名	司会	梅田 佳美	記録	加藤 紫乃
研究内容	研究部 主題 子どもの意識の流れを生かし、音楽能力の高まりを目指した授業の在り方 器楽部会テーマ 「子どもが楽曲の特徴や面白さに気付き、その楽曲への思いを大切にして、豊かな表現をめざす器楽活動」 ◎今年度の研修の課題と成果 <u>研究テーマについて</u> ・「子どもが楽曲の特徴や面白さに気付き」という点で、面白さをもっと内容を深くしていく必要がある。研究授業で、抑えるべき学習事項（共通事項）をもっと明確にするという課題ができたため、この面白さをもっと具体化していく。 ・「その楽曲への思いを大切にして」の点は、子どもが取り組む楽曲にどれだけの意欲を持てるか、どれだけその楽曲に魅力があるかを大事にしていきたい。今年度の研究授業で行われた楽曲「彼こそは海賊」は、難易度は高かったが、子どもたちはこの楽曲がとても気に入っていた。自分にとって魅力のある楽曲に積極的に取り組む子どもを目指したい。 <u>活動内容について</u> ・合奏などの実践があつてとても分かりやすかった。 ・講師の先生方の直接的なご指導は、実際の授業につながりやすく、また子どもの気持ちになれるので、とても分かりやすかった。 ・来年度も引き続き、実践を伴った研究を深めていきたい。また、講師の先生による講演やご指導を、実践を伴った研究で行っていきたい。 <u>活動方法について</u> ・楽器を実際に使用した研究方法が望ましい。 ・実際に自分たちが演奏すると、子どもの思いや意図をつかみとりやすい。 ・楽器を工面することが大変だが、器楽部会の参加人数が増えたら、本格的な器楽活動も行っていきたい。 <u>授業研究について</u> ・授業研の教材を中心に研究会を進められた。ただ、選曲については、推進委員と共に決定できるように事前に打ち合わせをしたい。				